

### スクールセット

JIS規格対応	NFCシリーズ(T字脚) NFUシリーズ(U字脚)	SSD-NFC・SCH-NFC SSD-NFU・SCH-NFU
旧JIS規格対応	FTシリーズ(T字脚) FUシリーズ(U字脚)	SSD-FT・SCH-FT SSD-FU・SCH-FU



T字脚



U字脚

※上記の画像は、旧JIS規格です。

#### JIS規格と旧JIS規格の見分けかた

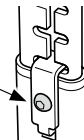
支柱可動部のボルトの数を  
確認してください。



○…支柱可動部

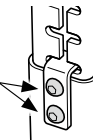
#### JIS規格

支柱可動部の  
ボルトが1本



#### 旧JIS規格

支柱可動部の  
ボルトが2本



1. 安全上のご注意

1

2. 末永くご使用いただくためのご注意

4

3. [JIS規格]机・イスの高さ調節のしかた

5

4. [旧JIS規格]机・イスの高さ調節のしかた

8

5. お手入れのしかた

11

6. 故障かな?と思ったら(不調診断)

12

7. 部品の交換について

12

保証について

13

このたびはコクヨ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。

※諸般の事情により、予告なく仕様が変わることがあります。あらかじめご了承ください。

# 1.安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。

**⚠警告** 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。

**⚠注意** 取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。

## ⚠警告

- 製品を廃棄するときは、焼却しないでください。

有害ガスが発生するなど、周囲に危険をおよぼす原因になります。

製品を廃棄するときは、専門業者に依頼するか、お買い上げの販売店にご連絡ください。

## ⚠注意

- 健康に影響をおよぼすことが考えられますので、以下の内容を守って使用してください。
  - ・ この製品を購入された当初は、化学物質の発散が多いことがありますので、しばらくの間は換気や通風を十分に行ってご使用ください。
  - ・ この製品をご使用になる室内が著しく高温多湿(温度28℃、相対湿度50%超が目安)になる場合は、窓を閉め切らないようにするか、強制的に換気を行ってください。
- 乱暴な取り扱いや、用途以外の使用はしないでください。  
けがや破損の原因になります。
- 床に傾斜や段差のある、不安定な場所では使用しないでください。  
転倒によるけがの原因になります。
- ストープなど火気を近づけて使用しないでください。  
やけどや火災の原因になります。

## 1.安全上のご注意

- **運動具や乗物代わりに使ったり、ゲームなどの遊びに使用しないでください。**  
転倒や破損によるけがの原因になります。
- **この製品を、運搬車代わりに使用しないでください。**  
転倒や破損によるけがの原因になります
- **脚を床面から浮かせた状態で使用しないでください。**  
転倒・落下・破損によるけがの原因になります。
- **ボルトやネジがゆるんだままで使用しないでください。**  
製品の変形・破損や転倒によるけがの原因になります。早めに締め直してください。
- **NFCシリーズは積み重ねないでください。**  
落下や転倒によるけがや破損のおそれがあります。
- **この製品は屋内で使用してください。**
- **可動部のすき間、本体の背板や座板とフレームのすき間、使用していないボルト穴や取付穴に手や指を入れないでください。**  
けがの原因になります。
- **製品の分解や改造はしないでください。**  
けがや破損の原因になります。
- **製品にもたれかからないでください。**  
転倒によるけがや破損の原因になります。
- **可動部に注油しないでください。**  
油がたれて床や衣類を汚す原因になります。
- **脚や支柱、棚板が変形した状態で使用しないでください。**  
破損や落下によるけがの原因になります。
- **製品に貼ってあるラベルは、絶対にはがさないでください。**  
誤った使いかたや事故を防止するためのものであります。ラベルがなくなったり、はがれたときは、当社から取り寄せ正しい位置に貼ってからご使用ください。
- **溶接の外れ、脚先キャップの欠落など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。**  
そのまま使用していると、グラツキによるものの落下や製品の破損により、けがをするおそれがあります。
- **この製品を他の人が使用するときは、この取扱説明書をよく読んでから使用するようにご指導ください。**

## 1.安全上のご注意

### 〈机について〉

- 耐荷重(下表の数値)を超えて、天板や棚板にものをのせたり、収納しないでください。

#### 全面に均等にのせた場合の耐荷重

天板	588N [約60kgf]
棚板	98N [約10kgf]

天板や棚板がたわんだり、製品の破損やものの落下によるけがの原因になります。

- フックにものを掛けたり、天板や棚板にものをのせたり収納するときは、片方に偏らないようにしてください。

転倒によるけがや破損のおそれがあります。

- のせるものが、天板からはみ出さないようにしてください。

ものが落下して、けがをするおそれがあります。

- 移動させるときは、天板にのせているものや棚に収納しているものを、すべて取り除いてください。

ものの落下によるけがのおそれがあります。

- 天板の上に立ち上がったり、腰を掛けたりしないでください。

転倒や転落によるけがの原因になります。

- 天板の端に体重をかけたり、重いものをのせないでください。

転倒や転落によるけがや破損の原因になります。

- 天板に金属や陶器、樹脂などの硬いものを押し付けたり、当てたりしないでください。

表面を傷つけたりへこみの原因になります。

### 〈イスについて〉

- 前後逆方向に座ったり、座面の端や背に腰を掛けたりしないでください。

転倒や転落によるけがの原因になります。

- イスの上に立ち上がったり、踏台代わりに使わないでください。

転倒や転落によるけがの原因になります。

- 足が床に届かない状態で座らないでください。

- 座面の端に腰掛けしないでください。

- 必ず1人でお座りください。

- イスから立ち上がる際、イスの背・座など1点に体重をかけないでください。

- イスに座った状態で、机に足をのせたり、脚の前側を浮かせたりしないでください。

転倒して、けがをすることがあります。

### 〈フェルトキャップについて(NFCシリーズのみ)〉

- 屋外やフローリング以外の床で使用しないでください。

- フェルトがすり減ったまま使用しないでください。すり減った場合は、フェルトキャップ4個とも新品に交換してください。

床を傷つけたり、脚先キャップ本体の交換が必要になります。

## 2.未永くご使用いただくためのご注意

---

- この製品は室内または屋内用です。屋外での使用や水ぬれは、故障・さび・変色・そり・目割れの原因になります。
- 直射日光やストーブなどの熱が直接あたる場所や、湿気・乾燥の著しいところでの使用は避けてください。変色・変形・そり・目割れなどの原因になります。
- 天板の上に、熱い湯のみや加熱したなべやかんなどを直接置かないでください。白く変色するおそれがあります。茶たくなべ敷きを敷いて使用してください。
- セロハンテープやシールなど、粘着性のあるものを貼り付けないでください。表面材がはがれる原因になります。
- 塗装面にプラスチックやビニールなどの樹脂製品やゴム製品を長期間放置しないでください。塗装との化学反応により、接触面が軟化したり、ベトツキ現象や色の移行を起こすことがあります。
- 天板の上で、ボールペンなど先のとがったものを、直接使用しないでください。表面を傷つけたり、跡が残る原因になります。
- 製品の上に、金属や陶器、樹脂などの硬いものを押し付けたり、当てたりしないでください。表面を傷つける原因になります。
- 飲み物をこぼしたままにしたり、ぬれ雑巾などをそのまま放置しないでください。表面材の変色やはがれ、ひび割れ、そりなどの原因になります。必ず水分が残らないように拭き取ってください。
- 棚板への収納は均等に行ってください。中央に偏ると棚板が変形するおそれがあります。
- ときどき、高さ調節用ボルトやネジのゆるみによるガタツキがないか点検し、ある場合は締め付けてください。

# 3. [JIS規格]机・イスの高さ調節のしかた

## ⚠注意

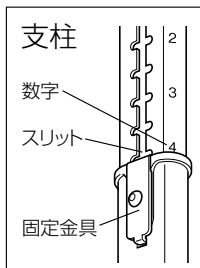
この取扱説明書をよくお読みの上、必ず大人が調節し、お子様には調節させないでください。

イスは2cmずつ、デスクは3cmずつ高さを調節できます。

### 支柱の数字について

支柱の数字は、JIS規格の号数を表しています。右表を参照して、号数を合わせてください。

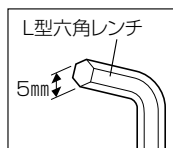
※数字のないスリットに合わせると、前後の号数の中間の高さになります。



支柱の数字 (号数)	使用する人の標準身長	机の高さ	イスの高さ
1	105cm	46cm	26cm
2	120cm	52cm	30cm
3	135cm	58cm	34cm
4	150cm	64cm	38cm
5	165cm	70cm	42cm
6	180cm	76cm	46cm

## 1 調節前の準備

1. 対辺5mmのL型六角レンチを用意してください。

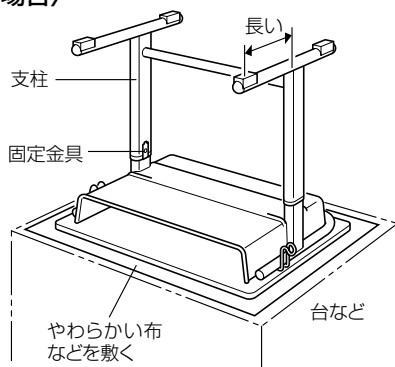


### 〈ご注意〉

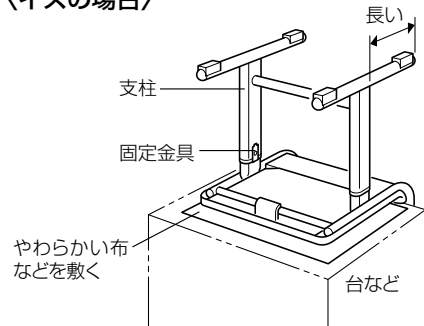
インパクトドライバーなどの強力な電動工具を使用しないでください。また、できるだけ新しい工具をご使用ください。ボルト頭がつぶれ、ボルトが回せなくなる原因になります。

2. 棚に入れているものや天板にのせているものを取り除いてください。

### 〈机の場合〉



### 〈イスの場合〉



## 2 高さ調節のしかた

(机、イス共通)

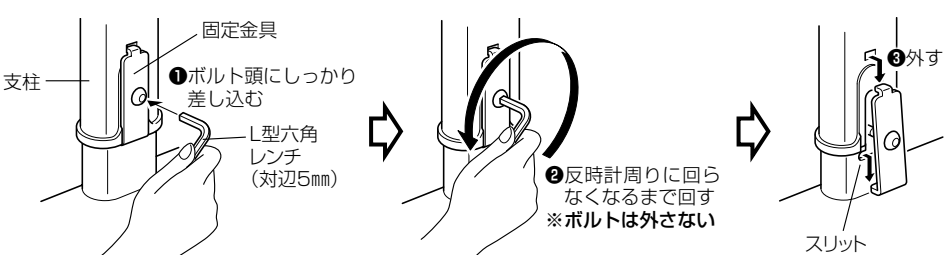
1. 本体を台など安定した場所に、裏返して置いてください。  
このとき、座面や天板を傷つけないように、下にやわらかい布などを敷いてください。

### 3. [JIS規格] 机・イスの高さ調節のしかた

2. 固定金具のボルトをゆるめ、固定金具をスリットから外してください。

※以下の作業は、左右の支柱ともに行ってください。

固定金具の外しかた



支柱 固定金具

① ボルト頭にしっかり差し込む

L型六角レンチ (対辺5mm)

② 反時計周りに回らなくなるまで回す  
※ボルトは外さない

③ 外す

スリット

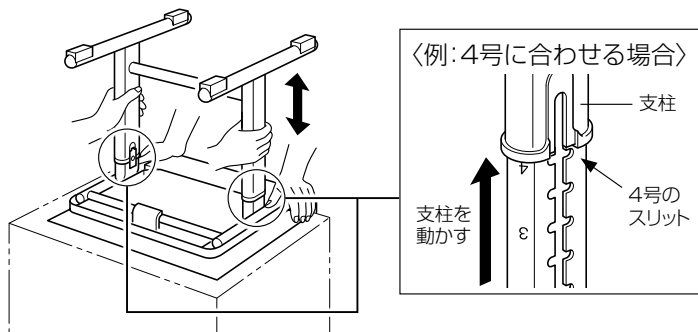
〈ボルトをゆるめるときのご注意〉

- できるだけ新しい工具をご使用ください。
- L型六角レンチは、必ず手回しで使ってください。
- ボルトは外さないでください。  
無理に外すと破損の原因になります。

3. 机、またはイスを二人で持って支柱を上げ下げし、使い勝手の良い号数(スリット)に合わせてください。

#### 〈ご注意〉

支柱の上げ下げは、顔や頭に製品が当たらないように注意して行ってください。



※図はイスで説明していますが、机も要領は同じです。

### 3. [JIS規格] 机・イスの高さ調節のしかた

4. 支柱を、下図のように固定金具で固定してください。

※以下の作業は、左右の支柱ともに行ってください。

固定金具の固定のしかた〈例：4号に合わせる場合〉

支柱  
使い勝手の良い号数 (スリット)  
固定金具  
① スライドさせる  
支柱を上から押さえてすき間をなくす  
② 差し込む  
③ 差し込む  
④ 差し込む  
L型六角レンチ (対辺5mm)  
⑤ ボルト頭にしっかり差し込む  
⑥ 片側を時計回りに5回転くらい回す  
⑦ 反対側も時計回りに5回転くらい回す  
⑧ 左右とも時計回りにしっかり締め付ける

〈固定金具を支柱に差し込むときのご注意〉

- 左右の支柱は、同じ高さのスリットに合わせてください。  
高さが異なると、不安定になり、転倒してけがや壊れる原因になります。
- 固定金具がスリットに確実に入っていることを確認してください。  
スリット以外で固定すると、壊れたり、支柱が下がって、けがをします。

固定金具がスリットにきっちり入っていない

〈ボルトを締めるときのご注意〉

- できるだけ新しい工具をご使用ください。
- L型六角レンチはボルトの奥まで垂直に差し込み、ボルト頭をつぶさないように回してください。
- L型六角レンチは、必ず手回しで使ってください。

5. 再度、本体を裏返してください。

**確認** 使用される前にご確認ください。

- 固定金具がスリットに確実に入っていること。
- 左右の支柱が同じ高さになっていること。
- ボルトが確実に締め込まれていること。



# 4. [旧JIS規格]机・イスの高さ調節のしかた

## ⚠注意

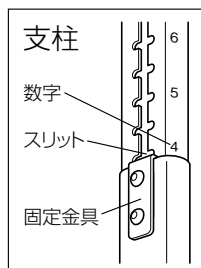
この取扱説明書をよくお読みの上、必ず大人が調節し、お子様には調節させないでください。

イスは2cmずつ、デスクは3cmずつ高さを調節できます。

### 支柱の数字について

支柱の数字は、旧JIS規格の号数を表しています。右表を参照して、号数を合わせてください。

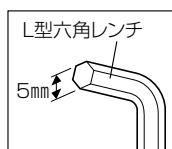
※数字のないスリットに合わせて、前後の号数の中間の高さになります。



支柱の数字 (号数)	使用する人の標準身長	机の高さ	イスの高さ
1	166~179cm	73cm	44cm
2	156~172cm	70cm	42cm
3	152~165cm	67cm	40cm
4	145~158cm	64cm	38cm
5	138~151cm	61cm	36cm
6	131~144cm	58cm	34cm
7	124~137cm	55cm	32cm
8	117~130cm	52cm	30cm
9	110~123cm	49cm	28cm
10	103~116cm	46cm	26cm
11	96~109cm	43cm	24cm

## 1 調節前の準備

1. 対辺5mmのL型六角レンチを用意してください。

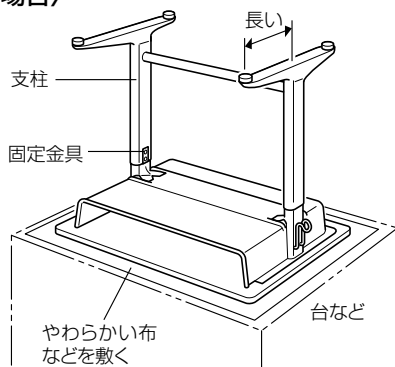


### 〈ご注意〉

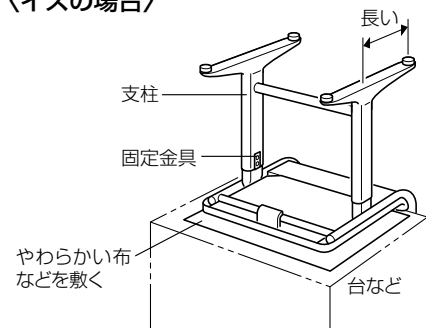
インパクトドライバーなどの強力な電動工具を使用しないでください。また、できるだけ新しい工具をご使用ください。ボルト頭がつぶれ、ボルトが回せなくなる原因になります。

2. 棚に入れているものや天板にのせているものを取り除いてください。

### 〈机の場合〉



### 〈イスの場合〉



## 2 高さ調節のしかた

(机、イス共通)

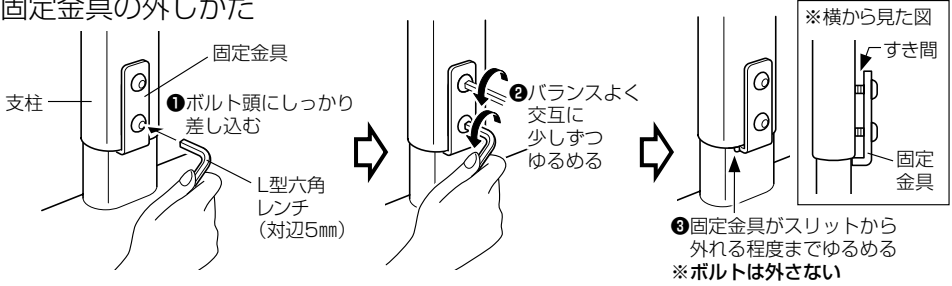
1. 本体を台など安定した場所に、裏返して置いてください。  
このとき、座面や天板を傷つけないように、下にやわらかい布などを敷いてください。

## 4. [旧JIS規格] 机・イスの高さ調節のしかた

2. 固定金具がスリットから外れる程度まで固定金具のボルトをゆるめてください。

※以下の作業は、左右の支柱ともに行ってください。

固定金具の外しかた



① ボルト頭にしっかり差し込む

② バランスよく交互に少しずつゆるめる

③ 固定金具がスリットから外れる程度までゆるめる  
※ボルトは外さない

※横から見た図  
すき間  
固定金具

支柱

固定金具

L型六角レンチ (対辺5mm)

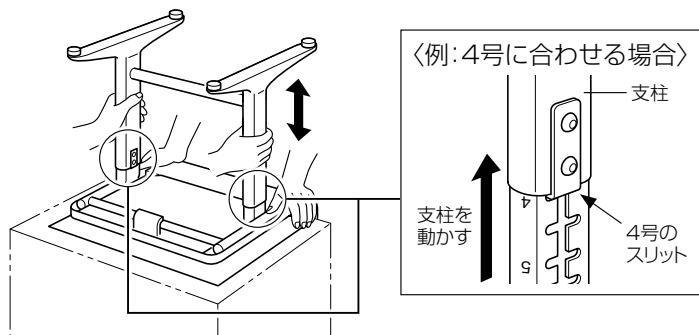
〈ボルトをゆるめるときのご注意〉

- できるだけ新しい工具をご使用ください。
- L型六角レンチはボルトの奥まで垂直に差し込み、ボルト頭をつぶさないように回してください。
- 2つのボルトをバランスよく交互に少しずつゆるめてください。
- L型六角レンチは、必ず手回しで使ってください。
- ボルトは外さないでください。  
無理に外すと破損の原因になります。

3. 机、またはイスを二人で持って支柱を上げ下げし、使い勝手の良い号数(スリット)に合わせてください。

### 〈ご注意〉

支柱の上げ下げは、顔や頭に製品が当たらないように注意して行ってください。



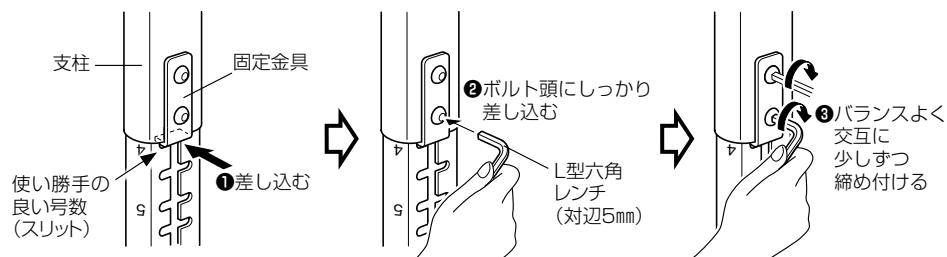
※図はイスで説明していますが、机も要領は同じです。

## 4. [旧JIS規格] 机・イスの高さ調節のしかた

4. 支柱を、下図のように固定金具で固定してください。

※以下の作業は、左右の支柱ともに行ってください。

固定金具の固定のしかた〈例：4号に合わせる場合〉



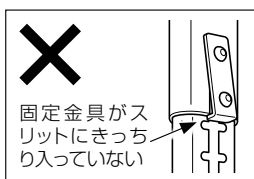
### 〈固定金具を支柱に差し込むときのご注意〉

- 左右の支柱は、同じ高さのスリットに合わせてください。

高さが異なると、不安定になり、転倒してけがや壊れる原因になります。

- 固定金具がスリットに確実に入っていることを確認してください。

スリット以外で固定すると、壊れたり、支柱が下がって、けがをする原因になります。



### 〈ボルトを締めるときのご注意〉

- できるだけ新しい工具をご使用ください。
- L型六角レンチはボルトの奥まで垂直に差し込み、ボルト頭をつぶさないように回してください。
- 2つのボルトをバランスよく交互に少しずつ締めてください。
- L型六角レンチは、必ず手回しで使ってください。

5. 再度、本体を裏返してください。

### 【確認】 使用される前にご確認ください。

- 固定金具がスリットに確実に入っていること。
- 左右の支柱が同じ高さになっていること。
- ボルトが確実に締め込まれていること。

# 5.お手入れのしかた

---

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。
  1. うすめた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いてください。
  2. 水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭き取ってください。
  3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。

## 汚れを落とすときの注意

水にぬれたままにしないでください。  
また市販の各種クリーナーやワックス、シミ抜きなどを使用される際は、その使用方法や使用上の注意をご理解の上、お客様の判断においてご使用ください。  
正しく使用されないと変色や変形など異常の原因になります。

## ■ 消毒のしかた

消毒のしかたと注意事項については、下記URL、または二次元コードから詳細をご覧ください。

[https://www.kokuyo-furniture.co.jp/manual/pdf/how\\_to\\_clean.pdf](https://www.kokuyo-furniture.co.jp/manual/pdf/how_to_clean.pdf)



## 6.故障かな?と思ったら(不調診断)

こんなときは	→ こう処置してください
● イスの背もたれや座面がグラグラする。	背裏や座裏のネジがゆるんでいることが考えられます。直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。
● 机やイスの脚などフレーム類がグラグラする。	高さ調節用ボルトがゆるんでいることが考えられます。JIS規格の場合は⑦ページ「4」、旧JIS規格の場合は⑩ページ「4」を参照して締め直してください。 溶接が外れていることが考えられます。直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

※以上の処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

## 7.部品の交換について

部品の交換をご希望の場合は、お買い上げの販売店、またはお客様相談室までお問い合わせください。

### △注意

お客様での交換作業はしないでください。製品の故障・破損やけがの原因になります。

## ■保証について

### 〈保証内容のご確認とお願い〉

●この保証書は、記載内容(無料修理規定)に基づいて、無料修理を行うことをお約束するものです。本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の有償修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。

●無料修理を受けられる場合は、「ご購入明細書」が必要になります。

お買い上げ日と販売店を、「ご購入明細書」にてご確認ください、大切に保管してください。

※「ご購入明細書」とは、製品の納品時にお客様にお渡しする「納品書兼出荷案内書」「販売店が発行する納品書(製品明細の記載があるもの)」のことです。

### 〈保証期間について〉

●保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)のガイドラインに準拠し、電気部品を除いて、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年	外観・表面 仕上げ	塗装および樹脂部品の变色・退色、 レザー・クロスの摩耗。
2年	機構部・ 可動部	引き出し・スライド機構・扉の開閉・ 錠前・昇降機構などの故障。
3年	構造体	強度・構造体にかかわる破損。

※使用頻度としましては、週40時間(週5日として1日8時間)の労働時間を想定しています。  
24時間体制の執務、年中無休での業務や、これに準ずる過酷なご使用をされること(消防・警察・鉄道・各業種の監視室・警備室・新聞社・TV局・学生寮・病院等)での使用頻度を前提とした保証期間ではありません。ご理解の程お願い致します。

●電気部品に関しましては、下記の年限とさせていただきます。

1年	電気部品	照明器具、スイッチ、ACアダプタ、 コンセント、モーターなど。
----	------	------------------------------------

お試しの電池は、保証対象外です。

### 〈無料修理規定〉

1.保証期間中に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で当社の責任と認められる不具合・故障が発生した場合は、無料修理をさせていただきます。

その際、張り地などの部材交換が必要な場合に本製品と同等の機能部材を使用する場合があります。

また、弊社の判断により製品全体を交換させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

2.お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室へご相談ください。

3.保証期間が過ぎた後や保証が適用されない故障につきましては、有料で修理させていただきます。

4.保証期間内でも以下の場合には有料となりますのでご了承ください。

(イ)ご購入明細書のご提示が無い場合

(ロ)ご購入明細書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合

(ハ)消耗部品(弊社指定部品)の交換

(ニ)第三者から転売・譲渡を受けた場合

(ホ)火災・水害・塩害・ガス害や地震などの天災地変による故障または破損

(ヘ)使用上の誤りによる故障または破損

(ト)カタログ、取扱説明書に記載の禁止事項もしくはそれに類する操作またはご使用者の故意もしくは重大な過失による故障または破損

(チ)加工・改造・不当な修理による故障または破損

(リ)設置後の落下、衝突や移動によって生じた故障または破損

(ヌ)接続している他の機器に起因した故障または破損

(ル)異常な環境下(高温・多湿・著しい温度変化等)での使用もしくは保管による故障または破損

(ヲ)強い磁気の影響や特殊工具の使用による故障または損傷

(ワ)屋外・温浴施設・プールなどで使用された場合の故障または破損

(カ)経時変化により発生する不具合または塗装面の自然退色

(ヨ)使用時の手垢埃等の汚れによる仕上げ表面の変化

(タ)使用上の消耗により発生する異音などの現象、変質またはさびかびの発生

(レ)外観の傷へこみ・変形や再現のできない不良

(ソ)一般的に品質や機能上、影響のない感応的現象(におい、音鳴りや振動など)

(ツ)日本国外で使用された場合に生じた故障または破損

5.ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。

6.本書およびご購入明細書は日本国内においてのみ有効です。

7.ご購入明細書は再発行致しませんので、大切に保管してください。

## コクヨ株式会社

本社オフィス 〒537-8686 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号  
ホームページURL <https://www.kokuyo.co.jp/>

お問い合わせ、ご相談は

お客様相談室

[kokuyo.jp/soudan/](https://kokuyo.jp/soudan/)

